

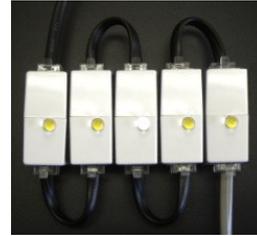
# RFID 実装工場 準備工数削減 ピッキングシステム

■ RFIDとLEDランプ表示で、機種切替え時の、フィーダ、部品、治工具等を短時間で間違いなく探します

**SMTラインの機種切り替え時には:**

## フィーダ(カセット)及び電子部品の準備

- ① 次機種に必要なフィーダを棚から持ってくる
- ② マウンタからフィーダを外してフィーダ棚に収納
- ③ 新しいフィーダをマウンタまたは一括交換台車にセット
- ④ 次機種に必要なリール部品を棚から持ってくる
- ⑤ フィーダから外したリール部品を部品棚に収納



## 印刷マスク、半田ペースト、スキージの交換

- ① 次機種に必要な印刷マスクを棚から持ってくる
- ② プリンタから外した印刷マスクを清掃し、マスク棚に収納
- ③ 半田ペーストの交換
- ④ スキージの交換

## 基板サポートピン(サポートピン治具)の交換

**等の機種切り替え作業を短時間で間違いなく交換する必要があります。**

フィーダ、部品、治工具の保管場所不明で、探す時間に無駄はありませか？

間違っものを持ってきて、棚と実装現場を往復していませんか？

本システムは、上記の準備工数を削減し、高価なSMTラインの稼働率を確実に向上させます。

## ■ フィーダ・リール部品準備システム例

**表示** フォンラインLINKとLED表示器で、次機種に必要なフィーダ棚間口のLEDを点灯させます。その後、まだフィーダにセットされていないリール部品がある場合は、リール部品棚間口とそのリール部品を搭載するフィーダの棚間口のLEDを点灯させます。

**確認** フィーダをピッキングする時、棚間口取り付けしたRFIDタグを、オペレータのリストに取り付けたウェアラブルRFIDリーダライタでRFIDタグを検出し、正しいフィーダかどうかを確認します。間違っている場合はオペレータにブザー、振動で知らせます。合っていればBluetoothでデータを送り、LEDを消灯させます。

**関連付け** 棚からフィーダを取出すとき棚間口とフィーダの関連付けを解除します。棚にフィーダを収納するとき、間口のRFIDタグと、フィーダのRFIDタグの連付を行う。どこに収納しても、システム上は保管場所を常時把握できます。リール部品にRFIDタグを使用しない場合はリールのバーコードとフィーダのタグを関連付けます。

